

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市中心身障害者ふれあいの家		
指定管理者	団体名	特定非営利活動法人 アックス工房	
	代表者	理事長 三上 十喜雄	
	所在地	むつ市金曲三丁目6番11号	
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日 (3年間)		
指定管理業務の概要	(1) 心身障害者の生きがいと自立を目指す活動の支援に関すること (2) 心身障害者の共同作業、学習及び集会の場の提供に関すること (3) 心身障害者、その家族等の交流の場の提供に関すること (4) 心身障害者の福祉の増進及び社会活動の促進を図るために必要な業務 (5) 施設、設備の維持管理に関すること (6) その他ふれあいの家の管理に関すること		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。
 ※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。
 ※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区分	計画額①	実績額②	増減(②-①)
収入合計(A)	2,460	2,460	0
うち利用料金額	0	0	0
うち指定管理料	2,460	2,460	0
支出合計(B)	2,460	2,490	30
うち人件費	1,926	1,918	▲8
収支差(A-B)	0	▲30	▲30
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	修繕及び備品購入費が発生したため		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区分	計画①	実績②	増減(②-①)
	作業室	100人	223人	123人
集会室	1,000人	878人	▲122人	
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施(有・無) 特に苦情等はありませんでした。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
※自主事業は実施していない			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	A
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	A	A
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	A
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	A	A
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	—	—
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	A
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	A
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	A
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	A
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	A	A
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	A
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	A
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	A
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	A	A

6. 指定管理者総合評価 ㊦自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること。

管理、運営を適切に行える人員配置、利用者の安全管理に配慮した施設運営に努めた。
 また、冬場の除雪は極力まめに行い利用者の便宜を図っている。
 施設の老朽化が進んでいるため、設備・備品等の点検手入れ等を積極的に行い維持管理に努めている。

7. 市の所管課総合評価 ㊧市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

施設運営上のトラブルはない。草刈りや除雪に加え、施設内の整理整頓の励行等、施設利用者の利便性向上に努めた管理運営がなされていた。
 施設利用の面においては、懸念事項であった作業室の利用に改善がみられたものの、全体的な利用者は減少傾向にあることから、潜在する新規利用団体獲得を目指し、広報活動の充実及び関係機関への訪問等、より一層の周知活動を望むものである。